

報徳小 学校だより

ほうとくの風

令和7年度 第7号
小田原市立報徳小学校
校長 瀬戸 由里子

《学校教育目標》

心豊かに 自分らしく生き抜く 子どもの育成

<http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kids/shougaku/houtoku/index.htm>



学校HP 二次元コード

大好きな6年生

ありがとう そして さようなら

今年度もあと数日で終わりをむかえます。保護者や地域の皆様、いつも子どもたちをあたたく見守り、支えていただき本当にありがとうございました。



年度末は、さまざまな人やものに感謝の気持ちを表す取組を行ってきました。登下校の見守りボランティア、学習、畑、算数スキル、図書ボランティアのみなさん、そして親父会や校務用員さんや調理場の方々。これからも子どもたちが、いつも応援してくれているたくさんの方々への感謝を忘れず、よりよい地域社会を創る一員として成長し、自分らしく「ひと・もの・こと」と関わり、人生を歩んでいくことを願っています。

インフルエンザ流行のため1週間延期となった6年生を送る会は、無事3月5日（木）に行うことができました。全校児童が体育館に集まり、6年生にありがとうの気持ちを込めて、学年ごとに工夫を凝らした出し物を行いました。

どの学年も、一年間の集大成としてみんなで協力し、成長した姿を見せてくれました。歌や楽器の演奏、ダンスや呼びかけ、寸劇、など、どの出し物もこれまで学習したことを活かしながら、「学年らしさ」があふれる心温まるものばかりでした。最後に6年生からは迫力のある素晴らしい合奏のプレゼントがありました。

6年生を送る取組を進めてくれたのは、4月から新しい報徳小学校のリーダーとなる5年生。様々な予定の変更にもしっかりと対応し、当日もその責任を果たしてくれました。

6年生を送る会が終わり、今年も給食の時間に一つ一つの教室を回りながら、それぞれの学年らしさ満載だった出し物についての感想と、心がほかほかになる素晴らしい会を作り上げてくれた子どもたちへの感謝の気持ちを伝えました。どの教室にもみんなで一つのことを成し遂げた満足した笑顔がありました。



… お話の集い ……………

3月10日(火)に今年度最後のお話の集いがありました。2時間目は5年生、3時間目は6年生がお話を聴きました。1つ目は、お気楽亭とんぼさんによる落語「平林」、2つ目は、大型絵本「ぼくにげちゃうよ」、3つ目は紙芝居「じごくけんぶつ」です。落語では、身振り手振りもリズムよく、たくさんの笑いが起こりました。お話の集いのボランティアの皆さん、お忙しい中、子どもたちのために練習を重ねご準備いただき本当にありがとうございました。本は心の栄養となり、子どもたちの人生を彩り、豊かにします。これからも、報徳小学校の子どもたちの心の栄養になっていただけたらと思います。6年生は小学校生活最後のお話の集いとして、心に残る充実した時間となりました。

